

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	1	
授業科目	ガソリンエンジン構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	総論① 4サイクルガソリンエンジン概要
	2	総論② 4サイクル・2サイクルエンジン比較、バルブタイミングダイヤグラム
	3	エンジン本体① シリンダヘッド、シリンダ、シリンダブロック
	4	エンジン本体② ピストン、ピストンピン
	5	エンジン本体③ ピストンリング
	6	エンジン本体④ コンロッド、クランクシャフト
	7	エンジン本体⑤ 点火順序1
	8	エンジン本体⑥ 点火順序2
	9	エンジン本体⑦ フライホイール、リングギヤ、バランス機構
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	2	
授業科目	ガソリンエンジン構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	エンジン本体① バルブ機構
	2	潤滑装置① 概要、オイルの循環
	3	潤滑装置② ピストンの冷却、オイルパン、オイルポンプ
	4	潤滑装置③ オイルフィルタ、オイルクーラ
	5	冷却装置① 概要、構造
	6	冷却装置② ラジエータ、ラジエータキャップ、サブタンク
	7	冷却装置③ ウォータポンプ、サーモスタッド
	8	冷却装置④ ファン、ファンベルト、不凍液
	9	吸排気装置①
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	3	
授業科目	ジーゼルエンジン構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	エンジン本体① 構造、機能
	2	エンジン本体② 潤滑装置
	3	エンジン本体③ 冷却装置
	4	エンジン総論① 内燃機関の概要
	5	エンジン総論② 作動、燃焼方式
	6	エンジン総論③ 燃焼状態・圧力の変化1
	7	エンジン総論④ 燃焼状態・圧力の変化2
	8	エンジン総論⑤ 排出ガス対応策
	9	エンジン総論⑥ 排出ガス浄化装置
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	4	
授業科目	シャシ構造学A I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置① 概要
	2	動力伝達装置② クラッチ部品
	3	動力伝達装置③ クラッチ部品、ダイヤフラムSP式クラッチ
	4	動力伝達装置④ ダイヤフラムSP式クラッチ、コイルSP式クラッチ
	5	動力伝達装置⑤ クラッチ操作機構
	6	動力伝達装置⑥ トランスミッション1（ギヤ比、動力伝達）
	7	動力伝達装置⑦ トランスミッション2（シンクロメッシュ機構）
	8	動力伝達装置⑧ トランスミッション3（シンクロメッシュ機構）
	9	動力伝達装置⑨ トランスミッション4（操作機構）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	5	
授業科目	シャシ構造学AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置⑩ ファイナルギヤ
	2	動力伝達装置⑪ ディファレンシャル1
	3	動力伝達装置⑫ ディファレンシャル2
	4	アクスル及びサスペンション① 概要、車軸懸架式1
	5	アクスル及びサスペンション② 車軸懸架式2
	6	アクスル及びサスペンション③ 独立懸架式
	7	アクスル及びサスペンション④ スプリング
	8	アクスル及びサスペンション⑤ ショックアブソーバ1
	9	アクスル及びサスペンション⑥ ショックアブソーバ2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	6	
授業科目	シャシ構造学B I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ブレーキ装置① 概要、フットブレーキ、ブレーキペダル
	2	ブレーキ装置② マスタシリンダ1
	3	ブレーキ装置③ マスタシリンダ2、ブレーキパイプ、ホース
	4	ブレーキ装置④ ドラムブレーキ
	5	ブレーキ装置⑤ ブレーキシュー、ライニング、ホイールシリンダ
	6	ブレーキ装置⑥ ドラムブレーキ自動調整装置
	7	ブレーキ装置⑦ ディスクブレーキ
	8	ブレーキ装置⑧ ブレーキ液
	9	ブレーキ装置⑨ アンチロック装置（Pバルブ）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	7	
授業科目	シャシ構造学B II	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ブレーキ装置⑩ 制動倍力装置1
	2	ブレーキ装置⑪ 制動倍力装置2
	3	ブレーキ装置⑫ パーキングブレーキ1
	4	ブレーキ装置⑬ パーキングブレーキ2
	5	ブレーキ装置⑭ ブレーキの性能1
	6	ブレーキ装置⑮ ブレーキの性能2
	7	ステアリング装置① 概要、ステアリング操作機構
	8	ステアリング装置② ステアリングギヤ機構
	9	ステアリング装置③ ステアリングリンク機構
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	8	
授業科目	自動車工学 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	自動車に関する計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	計算方法を理解し、計算結果が出せるようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	トルクの計算
	2	ギヤ比の計算
	3	ベルトの計算
	4	バルブリフトの計算
	5	ディファレンシャルの計算
	6	速度、駆動力の計算1
	7	速度、駆動力の計算2
	8	平均速度の計算
	9	マスタシリンダ油圧の計算
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	9	
授業科目	自動車工学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算結果が出せるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	排気量・圧縮比の計算1
	2	排気量・圧縮比の計算2、燃料消費量の計算
	3	加速度の計算
	4	軸重の計算1
	5	軸重の計算2
	6	軸重の計算3
	7	駆動力、走行抵抗1
	8	走行抵抗2
	9	走行抵抗3
	10	走行性能曲線図1
	11	走行性能曲線図2、仕事率1
	12	仕事率2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	10	
授業科目	電気・電子理論	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	電気・電子の理論を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気・電子の理論を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	電気の基礎① 概要、静電気、電流
	2	電気の基礎② 電圧、電気抵抗
	3	電気の基礎③ 電気回路
	4	電気の基礎④ 回路計算1
	5	電気の基礎⑤ 回路計算2
	6	電気の基礎⑥ 回路計算3
	7	電気の基礎⑦ 回路計算4
	8	電気の基礎⑧ 電力、電力量、コンデンサ
	9	電気と磁気⑨ 電線の許容電流と回路保護
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	11	
授業科目	電装品構造学 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	磁気の基本① 磁石の性質、磁力線の性質、電流と磁界の関係
	2	バッテリー① 概要、保守取扱い
	3	バッテリー② 新バッテリー、各種バッテリー
	4	充電装置① オルタネータ1
	5	充電装置② オルタネータ2
	6	始動装置① スタータ1
	7	始動装置② スタータ2
	8	点火装置① スパークプラグ1
	9	点火装置② スパークプラグ2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	12	
授業科目	電装品構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1 半導体の基礎① 半導体の種類と特質、真性半導体、不純物半導体、ダイオード 2 半導体の基礎② ツェナダイオード、発光ダイオード、フォトダイオード 3 半導体の基礎③ トランジスタ、サイリスタ 4 半導体の基礎④ 論理回路、サーミスタ、圧電素子、磁気抵抗素子 5 計器① 概要、速度計 6 計器② 燃料計、水温系、油圧系 7 計器③ エンジン回転計、運行記録計、デジタル式メーター、各種警報装置 8 ボデー電装① イモビライザ・システムとキーレス・スタート・システム 9 ボデー電装② カー・ナビゲーション・システム、バック・モニター・システム	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	13	
授業科目	整備作業機器	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	整備作業機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	整備作業機器の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 自動車の機械要素 ねじの種類と用途、工具の分類と取り扱い 2 作業工具① スパナ、メガネ、フレアナット、ヘキサゴン、トルクスレンチ 3 作業工具② ラチェット、スピナハンドル、ドライバー 4 作業工具③ プライヤ、ハンマー、インパクトレンチ 5 切削・研削工具① ドリル、弓のこ、卓上ボール盤、リーマ 6 切削・研削工具② タップ、ダイス、グラインダ 7 作業用機器 ジャッキ類、油圧プレス 8 エンジン点検・調整機器① タイミングライト、圧力計、オシロスコープ、外部診断機 9 エンジン点検・調整機器② ラジエータキャップテスタ、ベルト張力計 	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	14	
授業科目	工業計測	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	計測機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	計測機器の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	一般測定機器① 計測概論、直尺、ノギス
	2	一般測定機器② マイクロメータ、
	3	一般測定機器③ ダイヤルゲージ、シリンダゲージ
	4	一般測定機器④ トルクレンチ（プレート、プリセット、デジタル）、ばね秤
	5	一般測定機器⑤ トルクレンチ（プレート、プリセット、デジタル）、ばね秤
	6	検査用測定機器① サイドスリップ、ブレーキ、スピードメータテスト
	7	検査用測定機器② ヘッドライトテスト、排気ガス測定器
	8	検査用測定機器③ 黒煙テスト、オパシメータ
	9	検査用測定機器④ 騒音計
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	15	
授業科目	図面 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	図面の読み方及び書き方・各記号について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	図面の理解・製図技術の習得	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 製図の基本① 概要、図形の投影方法 2 製図の基本② 線の種類と用途、図形の配置 3 製図の基本③ 寸法記入、寸法補助記号 4 三角法での製図① 5 三角法での製図② 6 実物の教材からの製図① 7 実物の教材からの製図② 8 実物の教材からの製図③ 9 実物の教材からの製図④ 	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	16	
授業科目	ガソリンエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	総論① 性能
	2	総論② ガソリンエンジンの燃焼1
	3	総論③ ガソリンエンジンの燃焼2
	4	燃料装置①
	5	燃料装置②
	6	燃料装置③
	7	電子制御装置① 燃料噴射装置1
	8	電子制御装置② 燃料噴射装置2
	9	電子制御装置③ 燃料噴射装置3
	10	電子制御装置④ アイドル回転速度制御装置1
	11	電子制御装置⑤ アイドル回転速度制御装置2
	12	電子制御装置⑥ 点火制御装置1
	13	電子制御装置⑦ 点火制御装置2
	14	電子制御装置⑧ 点火制御装置3
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	17	
授業科目	ジーゼルエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンの構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	機械式燃料装置① 概要
	2	機械式燃料装置② 列型インジェクションポンプ
	3	機械式燃料装置③ 分配型インジェクションポンプ
	4	機械式燃料装置④ プランジャ作動・制御
	5	機械式燃料装置⑤ タイマ、ガバナ、フィードポンプ
	6	機械式燃料装置⑥ スロットルノズル1
	7	機械式燃料装置⑦ スロットルノズル2
	8	コモンレール式燃料噴射装置① 概要
	9	コモンレール式燃料噴射装置② 構造、機能
	10	コモンレール式燃料噴射装置③ サプライポンプの作動
	11	コモンレール式燃料噴射装置④ コモンレール
	12	コモンレール式燃料噴射装置⑤ インジェクタの作動
	13	コモンレール式燃料噴射装置⑥ センサ1
	14	コモンレール式燃料噴射装置⑦ センサ2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	18	
授業科目	シャシ整備法A	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	シャシ構造に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置⑬ 概要、伝達トルク容量
	2	動力伝達装置⑭ AT1 トルクコンバータ
	3	動力伝達装置⑮ AT2 変速機構1
	4	動力伝達装置⑯ AT3 変速機構2
	5	動力伝達装置⑰ AT4 変速の仕組み
	6	動力伝達装置⑱ AT5 電子制御装置1
	7	動力伝達装置⑲ AT6 電子制御装置2
	8	動力伝達装置⑳ AT7 油圧制御機構
	9	動力伝達装置㉑ AT8 変速点
	10	動力伝達装置㉒ AT9 Dレンジ1、2、3、4速
	11	動力伝達装置㉓ AT10 Rレンジ、Nレンジ、Pレンジ
	12	動力伝達装置㉔ AT11 ロックアップ機構
	13	動力伝達装置㉕ CVT1
	14	動力伝達装置㉖ CVT2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	19	
授業科目	シャシ整備法B	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	シャシ構造に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置⑳ LSD
	2	動力伝達装置㉑ インタアクスルディファレンシャル
	3	アクスル及びサスペンション㉒ サスペンションの性能1
	4	アクスル及びサスペンション㉓ サスペンションの性能2
	5	アクスル及びサスペンション㉔ エアスプリング式サスペンション1
	6	アクスル及びサスペンション㉕ エアスプリング式サスペンション2
	7	アクスル及びサスペンション㉖ 電子制御式サスペンション1
	8	アクスル及びサスペンション㉗ 電子制御式サスペンション2
	9	ステアリング装置㉘ 旋回性能
	10	ステアリング装置㉙ 油圧式パワーステアリング1
	11	ステアリング装置㉚ 油圧式パワーステアリング2
	12	ステアリング装置㉛ 油圧式パワーステアリング3
	13	ステアリング装置㉜ 電動式パワーステアリング4
	14	ブレーキ装置㉝ ブレーキの性能、ABS
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	20	
授業科目	電装品整備法	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	電子制御式燃料噴射装置① 概要、燃料系統
	2	電子制御式燃料噴射装置② 吸気系統
	3	電子制御式燃料噴射装置③ 制御系統1 バキュームセンサ他
	4	電子制御式燃料噴射装置④ 制御系統2 アクセルポジションセンサ他
	5	電子制御式燃料噴射装置⑤ 制御系統3 水温センサ、O ₂ センサ
	6	電子制御式燃料噴射装置⑥ 制御系統4 噴射時期制御、噴射量制御
	7	電子制御式燃料噴射装置⑦ 制御系統5 フューエルカット他
	8	自己診断機
	9	通信システム① 概要、CAN通信システム1 構造、機能
	10	通信システム② CAN通信システム2 通信方法、通信規制
	11	通信システム③ CAN通信システム3 点検、整備
	12	自動車特定整備① 自動運行装置
	13	自動車特定整備② 衝突被害軽減制動制御装置、自動命令型操舵機能
	14	自動車特定整備③ エーミング
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	21	
授業科目	故障診断学ガソリンエンジン	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題① 基礎工学1
	2	分野別問題② 基礎工学2
	3	分野別問題③ エンジン本体1 シリンダ
	4	分野別問題④ エンジン本体2 バルブタイミングダイヤグラム
	5	分野別問題⑤ 潤滑装置、冷却装置
	6	分野別問題⑥ 吸排気装置1 過給機
	7	分野別問題⑦ 吸排気装置2 排気ガス浄化装置
	8	分野別問題⑧ 電子制御装置1 センサ1
	9	分野別問題⑨ 電子制御装置2 センサ2
	10	分野別問題⑩ 電子制御装置3 制御1
	11	分野別問題⑪ 電子制御装置4 制御2
	12	分野別問題⑫ 電子制御装置5 点火時期
	13	分野別問題⑬ 電子制御装置6 故障診断
	14	分野別問題⑭ 演習1
	15	分野別問題⑮ 演習2
	16	分野別問題⑯ 演習3
	17	分野別問題⑰ 演習4
	18	分野別問題⑱ 演習5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	22	
授業科目	故障診断学ジーゼルエンジン	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置① 概要
	2	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置② 特徴
	3	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置③ 燃料システム
	4	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置④ 作動1
	5	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置⑤ 作動2
	6	ユニットインジェクタ式高圧燃料噴射装置⑥ 問題
	7	可変吸気装置
	8	吸排気装置① 慣性吸気装置
	9	吸排気装置② 排気ガス後処理装置、DPF、尿素SCR
	10	吸排気装置③ 問題集
	11	予熱装置① 電熱式インテークエアヒータ
	12	予熱装置② グロープラグ
	13	予熱装置③ 問題集
	14	分野別問題① 基礎工学
	15	分野別問題② 燃料装置1
	16	分野別問題③ 燃料装置2
	17	分野別問題④ 燃料装置3
	18	分野別問題⑤ 燃料装置4
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	23	
授業科目	故障診断学シヤシA	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	シヤシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シヤシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題① 動力伝達装置1 クラッチ
	2	分野別問題② 動力伝達装置2 トルクコンバータ
	3	分野別問題③ 動力伝達装置3 速度比、トルク比、伝達効率
	4	分野別問題④ 動力伝達装置4 A/T作動
	5	分野別問題⑤ 動力伝達装置5 プラネタリギヤ
	6	分野別問題⑥ 動力伝達装置6 自動変速線図
	7	分野別問題⑦ 動力伝達装置7 A/T安全装置、点検
	8	分野別問題⑧ 動力伝達装置8 CVT1
	9	分野別問題⑨ 動力伝達装置9 CVT2
	10	分野別問題⑩ 動力伝達装置10 ディファレンシャル
	11	分野別問題⑪ 動力伝達装置11 LSD1
	12	分野別問題⑫ 動力伝達装置12 LSD2
	13	分野別問題⑬ 動力伝達装置13 インタアクスルディファレンシャル
	14	分野別問題⑭ サスペンション1 ばね特性、ボディーの揺動
	15	分野別問題⑮ サスペンション2 アクスル、スペンション
	16	分野別問題⑯ サスペンション3 サスペンションの異音
	17	分野別問題⑰ サスペンション4 ショックアブソーバ
	18	分野別問題⑱ サスペンション5 エアサスペンション1
	19	分野別問題⑲ サスペンション6 エアサスペンション2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	24	
授業科目	故障診断学シヤシB	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	シヤシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シヤシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ブレーキ装置⑰ ABS1
	2	ブレーキ装置⑱ ABS2
	3	ブレーキ装置⑲ エキゾーストブレーキ
	4	ブレーキ装置⑳ エディカレントリターダ、永久磁石式リターダ
	5	ブレーキ装置㉑ 流体式リターダ、エンジンリターダ
	6	分野別問題① ステアリング装置1 油圧式パワーステアリング1
	7	分野別問題② ステアリング装置2 油圧式パワーステアリング2
	8	分野別問題③ ステアリング装置3 オイルポンプ
	9	分野別問題④ ステアリング装置4 電動パワーステアリング1
	10	分野別問題⑤ ステアリング装置5 電動パワーステアリング2
	11	分野別問題⑥ ホイール、タイヤ
	12	分野別問題⑦ ホイールアライメント
	13	分野別問題⑧ ブレーキ装置1 ブレーキ概要
	14	分野別問題⑨ ブレーキ装置2 エア油圧式ブレーキ
	15	分野別問題⑩ ブレーキ装置3 フルエア式ブレーキ
	16	分野別問題⑪ ブレーキ装置4 補助ブレーキ
	17	分野別問題⑫ ブレーキ装置5 ABS1
	18	分野別問題⑬ ブレーキ装置6 ABS2
	19	分野別問題⑭ ブレーキ装置7 ABS3、トラクションコントロール
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	25	
授業科目	故障診断学電装品	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	分野別問題① 基礎工学 電気回路
	2	分野別問題② 電気装置1 半導体、論理回路
	3	分野別問題③ 電気装置2 電気一般、計器
	4	分野別問題④ 電気装置3 バッテリ
	5	分野別問題⑤ 電気装置4 始動装置
	6	分野別問題⑥ 電気装置5 充電装置
	7	分野別問題⑦ 電気装置6 点火装置
	8	分野別問題⑧ 電気装置7 警報装置、冷房装置
	9	分野別問題⑨ 電気装置8 SRSエアバッグ、カーナビゲーション
	10	分野別問題⑩ 電気装置9 CAN通信、外部診断器
	11	分野別問題⑪ 電子制御装置1 センサ、制御1
	12	分野別問題⑫ 電子制御装置2 制御2
	13	分野別問題⑬ 電子制御装置3 点火時期、故障診断
	14	分野別問題⑭ 演習1
	15	分野別問題⑮ 演習2
	16	分野別問題⑯ 演習3
	17	分野別問題⑰ 演習4
	18	分野別問題⑱ 演習5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	26	
授業科目	特殊機構	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	自動車に用いられる特殊装置を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に用いられる特殊装置を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	排出ガス①
	2	排出ガス②
	3	DPF、尿素SCR
	4	過給装置① ターボチャージャ
	5	過給装置② スーパーチャージャ・インタクーラ
	6	可変吸気装置
	7	可変バルブタイミング装置①
	8	可変バルブリフト装置①
	9	可変バルブリフト装置②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	27	
授業科目	材料・燃料・油脂	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	材料① 自動車材料
	2	材料② 自動車の機械要素
	3	材料③ 基礎的な原理・法則
	4	材料④ 分野別練習問題
	5	燃料・油脂① ガソリン燃料及び潤滑剤
	6	燃料・油脂② ジーゼル燃料及び潤滑剤
	7	燃料・油脂③ 潤滑及び潤滑剤
	8	燃料・油脂④ 分野別練習問題1
	9	燃料・油脂⑤ 分野別練習問題2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	28	
授業科目	自動車検査	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	自動車の構造
	2	自動車の装置① 原動機、制動装置1
	3	自動車の装置② 制動装置2、電気装置
	4	自動車の装置③ 緩衝装置、突入防止装置
	5	自動車の装置④ 乗車装置、窓ガラス
	6	自動車の装置⑤ 騒音防止装置
	7	自動車の装置⑥ 走行用前照灯、灯火器類の不適切な補修
	8	自動車の装置⑦ 前部霧灯、番号灯
	9	自動車の装置⑧ 尾灯、後退灯
	10	自動車の装置⑨ 方向指示器、その他の灯火類
	11	自動車の装置⑩ 緊急自動車等
	12	演習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	29	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	概要、道路運送車両法
	2	自動車の種類
	3	登録制度① 自動車登録ファイル
	4	登録制度② 自動車登録番号標
	5	保安基準
	6	点検整備制度① 点検整備の義務
	7	点検整備制度② 点検整備記録簿1
	8	点検整備制度③ 点検整備記録簿2
	9	検査制度① 自動車の検査
	10	検査制度② 自動車検査証の有効期間
	11	認証制度、指定制度
	12	演習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	30	
授業科目	工作作業実習	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	工作道具、工具を使用し金属加工を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	安全作業、工作工具の使用方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	ケガキ作業
	3	やすり掛け作業①
	4	やすり掛け作業②
	5	やすり掛け作業③
	6	やすり掛け作業④
	7	やすり掛け作業⑤
	8	やすり掛け作業⑥
	9	仕上げ作業
	10	穴あけ作業
	11	ドリル歯研ぎ作業
	12	スタッドボルト作成
	13	タップ作業
	14	締め付けトルク
	15	ねじ折作業
	16	逆タップ①
	17	逆タップ②
	18	折れたねじの取り外し
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	31	
授業科目	基本作業実習 I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	自動車の基本的な整備技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の基本的な整備技術を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	車両名称①
	3	車両名称②
	4	車両の取り扱い
	5	リフト取り扱い①
	6	リフト取り扱い②
	7	リフト取り扱い③
	8	タイヤ取り外し①
	9	工具について
	10	タイヤ取り外し②
	11	タイヤ取り外し③
	12	KYT講習①
	13	KYT講習②
	14	KYT講習③
	15	KYT講習④
	16	日常点検①
	17	日常点検②
	18	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	32	
授業科目	基本作業実習Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	サーキットテストの組み立てと電気の測定方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	サーキットテストを使用した電気の測定方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	アナログサーキットテスト作成①
	3	アナログサーキットテスト作成②
	4	アナログサーキットテスト作成③
	5	電気の流れ
	6	回路構成部品
	7	回路の作成①
	8	回路の作成②
	9	電圧の計算・測定①
	10	電圧の計算・測定②
	11	電流の計算・測定③
	12	電流の計算・測定④
	13	抵抗の計算・測定⑤
	14	抵抗の計算・測定⑥
	15	測定復習
	16	測定復習
	17	配線の加工
	18	カプラから配線の取り外し
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	33	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車のリフト作業とブレーキ関係を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車のリフト作業、ブレーキ関係の整備技術を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	リフト操作復習
	3	エンジンオイル交換作業
	4	ガレージジャッキ、使用前点検
	5~8	ジャッキアップ作業
	9~10	タイヤローテーション、バランス取り
	11~12	ジャッキアップ作業確認試験
	13~18	マスタシリンダ、マスタシリンダ脱着、OH
	19~26	ドラムブレーキ、ドラムブレーキ脱着、OH
	27~32	ディスクブレーキ、ディスクブレーキ脱着、OH
	33~34	ブレーキにエア抜き作業
	35~36	ブレーキ装置関係点検要領
	37~38	真空式制動倍力装置
	39~40	パーキングブレーキ、パーキングブレーキ調整
	41~43	復習
	44~48	ブレーキ分解作業確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	34	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車のエンジンに関する整備技術と測定技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備技術と測定方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	エンジン取り外し
	3~6	シリンダヘッド、シリンダヘッド分解、燃焼室
	7~10	ノギス、マイクロメータ、バルブステム測定
	11~12	シリンダヘッド構成部品、点検、清掃、組立
	13~20	エンジン本体分解、発電装置説明、変速機説明、ガスケット、オイルシール
	21~24	測定作業、キャリパゲージ、カムリフトについて、圧縮比、ピストンスピード
	25~26	測定作業復習
	27~28	ノギス、マイクロメータ、キャリパゲージ確認試験
	29~32	エンジン組み立て、シクネスゲージ、バルブクリアランス、調整、バルブリフト
	33~34	エンジン車両搭載、チェーン調整、ブレーキ調整
	35~38	キャブレータ、清掃
	39~41	エンジン始動、エンジン回転測定、調整
	42	試運転
	43~47	復習
	48	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	35	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 A III	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車電気装置の整備技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	電気装置に関する整備技術を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~10	バッテリー、脱着、充電、ブースターケーブル
	11~18	スタータ、脱着
	19	配線図について
	20~22	スタータ回路測定、スイッチ、リレー
	23~34	オルタネータ、脱着、アナログオシロスコープ、波形測定
	35~44	点火装置
	45~48	オルタネータ波形測定、スタータ作動点検確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	36	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 B I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	82.8時間	
授業コマ数	46コマ	
授業概要	エンジンの分解組み付けを行いエンジンに関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備技術を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~5	エンジン作業台取り付け、バルブタイミング、シリンダヘッド分解
	6~7	バルブ、バルブスプリング、ラッシュアジャスタ
	8~10	ダイヤルゲージ、カムシャフト、測定、カムリフト、バルブリフト復習
	11~12	バルブすり合わせ作業、シリンダヘッド組み付け
	13~18	エンジン本体分解
	19~20	潤滑装置
	21~22	ピストン、ピストンリング、コンロッド、クランクシャフト
	23~26	シリンダゲージ、シリンダ測定、圧縮比、ピストンスピード復習
	27~30	ピストン、クランクシャフト、コンロッド、オイルクリアランス測定、測定練習
	31~32	測定確認試験
	33~36	エンジン組み立て
	37~38	エンジン試運転
	39~43	タイミングベルト練習、測定練習
44~45	タイミングベルト、測定確認試験	
46	まとめ	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	37	
授業科目	基礎自動車整備作業実習 B II	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	82.8時間	
授業コマ数	46コマ	
授業概要	自動車の法令点検と自動車のシャシ関係部品に関する整備方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検に関する整備技術を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	日常点検復習
	3~14	12ヶ月点検
	15~18	12ヶ月点検、ジャッキ
	19~20	確認試験
	21~22	ステアリング、ステアリングギヤボックス取り外し
	23~24	ステアリングギヤボックス
	25~26	ステアリングギヤボックス取り付け
	27~28	パワステオイルエア抜き作業、ハンドル調整、トー調整
	29~30	サスペンション取り外し、分解
	31~36	ショックアブソーバ、アライメント
	37~38	タイヤ、タイヤ交換作業
	39~40	アライメント作業確認試験
	41~46	12ヶ月点検復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	38	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	82.8時間	
授業コマ数	46コマ	
授業概要	自動車のシャシ関係部品に関する整備方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	シャシに関する整備技術を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	トランスミッション取り外し
	5~8	クラッチ、センタ出し、クラッチ取り付け
	9~12	トランスミッション取り付け
	13~18	単体トランスミッション分解、シンクロナイズ機構
	19~20	ギア比、ギア比に関する計算
	21~22	単体トランスミッション組み立て
	23~24	ディファレンシャル取り外し
	25~26	プロペラシャフト
	27~28	ディファレンシャル組み付け
	29~32	単体ディファレンシャル分解、歯当たり点検、バックラッシュ測定
	33~36	単体ディファレンシャル組み立て、歯当たり、バックラッシュ、プレロード調整
	37~38	ギア比、ギア比に関する計算復習
	39~40	ドライブシャフト取り外し、組み付け
	41~43	ドライブシャフト、ブーツ交換作業
	44~46	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	39	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BIV	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	エンジンに関する整備方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備技術と測定方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～6	シリンダヘッド取り外し
	7～10	シリンダヘッドヘッドOH
	11～16	シリンダヘッド取り付け
	17～18	冷却水エア抜き作業
	19～22	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	40	
授業科目	基礎自動車整備作業実習B V	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	自動車の電気回路について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	電気回路を理解し、測定方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	センサ、ECU、アクチュエータ
	5~6	電子制御式燃料噴射装置
	7~8	フューエルポンプについて
	9~11	サーキットオープニングリレー、プレッシャレギュレータ
	12~14	インジェクタ
	15~16	アナログオシロスコープ復習
	17~18	噴射波形測定
	19~20	アナログオシロスコープ使用確認試験
	21~22	燃料系統回路測定、故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	41	
授業科目	基礎自動車整備作業実習BVI	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	エンジンの制御に関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの制御を理解し、故障診断方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	回路図見方復習
	3	スイッチ、リレー復習
	4	ブレーキ回路、測定
	6~8	ヘッドライト回路、測定
	9~10	バックランプ回路、測定
	11~12	ブレーキ回路、ヘッドランプ回路、バックランプ回路故障診断
	13	故障診断確認試験
	14~18	ハイブリッド自動車
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	42	
授業科目	応用自動車整備作業実習 A I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	77.4時間	
授業コマ数	43コマ	
授業概要	二輪整備とオートマチックトランスミッションについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	二輪車とオートマチックトランスミッションについて構造を理解する	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~10	2輪整備①車体
	11~20	2輪整備②エンジン
	21~27	オートマチックトランスミッション分解
	28~38	オートマチックトランスミッション、構造、組み付け
	38~43	CVT
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	43	
授業科目	応用自動車整備作業実習 A II	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	77.4時間	
授業コマ数	43コマ	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	デジタルテスタを使用して電気装置の測定と故障診断方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~3	デジタルテスタ作成
	4~12	電子回路
	13	配線図見方復習
	14	電源回路
	15~16	ヘッドランプ回路
	17~18	ブレーキランプ、バックランプ回路
	19~20	パワーウィンドウ回路
	21~22	ワイパー回路
	23~43	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	44	
授業科目	応用自動車整備作業実習B I	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	68.4時間	
授業コマ数	38コマ	
授業概要	車体からエンジン、トランスミッション、ACの脱着作業を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンやトランスミッション、ACの取り外し方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～9	トランスミッション取り外し
	10～14	トランスミッション構造
	14～24	トランスミッション取り付け
	25～29	エアコンデシヨナ取り外し
	29～32	エアコンデシヨナ構造
	33～38	エアコンデシヨナ取り付け
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
科目番号	45	
授業科目	応用自動車整備作業実習B II	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	70.2時間	
授業コマ数	39コマ	
授業概要	自動車の電子制御に関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	オシロスコープを用いた測定と故障診断方法を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	電子制御式燃料噴射装置復習
	3~8	センサ、アクチュエータ
	9	アナログオシロスコープ復習
	10	デジタルオシロスコープ
	11~16	波形測定
	17	故障診断進め方
	18	外部診断機使い方
	19~39	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	46	
授業科目	応用自動車整備作業実習BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	70.2時間	
授業コマ数	39コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	ジーゼルエンジンの仕組みを理解し整備技術を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~13	ジーゼルエンジン分解
	14~15	ジーゼルエンジン構造
	11~16	ジーゼルエンジン組付け
	17~18	コモンレール
	19~20	余熱装置
	21~26	噴射ポンプ分解
	27~28	噴射ポンプ構造
29~39	噴射ポンプ組付け	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	47	
授業科目	自動車検査実習	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	75.6時間	
授業コマ数	42コマ	
授業概要	自動車の法令点検と検査に関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検整備と自動車検査技術を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～8	12ヶ月定期点検復習
	9～20	24ヶ月定期点検（乗用）
	21～28	12ヶ月定期点検（貨物）
	29～32	エアブレーキ、補助ブレーキ
	33～42	検査
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	48	
授業科目	総合自動車整備実習	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治 木村耕陽 亀谷宣文 宮木光司 道上将和 金田大作	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	43.2時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	自動車整備士の総合的な技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	新人の自動車整備士として働ける技術レベルを身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2~4	測定技術、エンジン整備技術
	5~8	シャシ整備技術
	9~12	故障診断技術①
	13~16	故障診断技術②
	17~20	法令点検技術① エンジンルーム関係、接客応対
	21~24	法令点検技術② シャシ関係
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	49	
授業科目	自動車キャリアデザイン	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	52.2時間	
授業コマ数	29コマ	
授業概要	就職に対する準備を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	就職希望企業選定、履歴書作成、面接対応力修得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職の心構え
	2~11	自己PR、自己分析
	12	面接試験項目①
	13	面接試験項目②
	14	説明会・選考試験①
	15	説明会・選考試験②
	16	説明会・選考試験③
	17	履歴書作成①
	18	履歴書作成②
	19	志望動機①
	20	志望動機②
	21	志望動機③
	22	面接試験トレーニング①
	23	面接試験トレーニング②
	24	面接試験トレーニング③
	25	応募書類の準備①
	26	応募書類の準備②
	27	企業へのアクセス
	28	就職スケジュール管理
	29	内定令状の作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	50	
授業科目	自動車パソコン実習	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	表計算ソフトの使用方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	E X C E Lを使用できるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシート、ブックの作成について
	2	セルのデータ管理について
	3	数式・関数について①
	4	数式・関数について②
	5	グラフの作成
	6	課題①
	7	課題②
	8	課題③
	9	課題④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	51	
授業科目	消防法	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	危険物取り扱いについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	危険物取扱者乙種第4類の知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	危険物の種類と性質
	2	基礎化学①
	3	基礎化学②
	4	火災予防と消化方法①
	5	火災予防と消化方法②
	6	危険物の法令①
	7	危険物の法令②
	8	危険物の法令③
	9	危険物の法令④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	52	
授業科目	自動車ビジネスマナー I	
実務家教員授業	-	
	-	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ビジネスマナーについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	基本的なビジネスマナーの理解、習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い
	2	職場のマナー
	3	仕事の進め方
	4	報告、連絡、相談
	5	挨拶、笑顔、お辞儀①
	6	挨拶、笑顔、お辞儀②
	7	敬語①
	8	敬語②
	9	敬語③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内 容	
科目番号	53	
授業科目	自動車ビジネスマナーⅡ	
実務家教員授業	—	
	—	
学部・学科	二級自動車整備学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ビジネスマナーについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	基本的なビジネスマナーの理解、習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電話応対①
	2	電話応対②
	3	電話応対③
	4	接客マナー①
	5	接客マナー②
	6	営業マナー
	7	商品説明①
	8	商品説明②
	9	クレーム対応
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
成績評価基準	秀：90点以上、優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：60点未満	
備考		